

# 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	有限会社 東京演劇アンサンブル
公演団体名	東京演劇アンサンブル

内容
指導者は4～5名で行います。 2部構成にし、1部を全校児童・生徒で実施し、2部を選抜隊のメンバーで実施します。
1部 全校児童・生徒参加 授業内で実施 ①芝居の流れの説明 ②みんなで声を出してみよう ③みんなでからだを動かしてみよう ④歌の練習「海にうたう」全員 「マングース」合いの手
2部 選抜隊メンバー参加 昼休み・放課後などを利用(授業内でももちろん可能です) ⑤と⑥は並行して実施します。 ⑤選抜隊A 出演シーンの稽古 7～10人の出演予定です。 ⑥選抜隊B 「夜の海で歌われた歌」女 ⑦(時間が余れば)シアターゲームなど

タイムスケジュール(標準)
1部 45分～50分 00～10分・① 10～20分・② 20～30分③ 30～50分・④
2部 30分～45分 00～30分・⑤/⑥ 30～45分・⑦

派遣者数
計6名 講師5名、スタッフ1名

学校における事前指導
歌のCDを事前に送付しますので、お昼の校内放送などで聞いてください。 事前に楽譜・歌詞も配布し、ワークショップ時に初見にならないよう準備してください。
公演時には歌詞カードなど持ち込めないの、参加する曲を良く練習し、うたえるようにしておいてください。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	有限会社 東京演劇アンサンブル
公演団体名	東京演劇アンサンブル

**演目**

音楽劇 消えた海賊

広渡常敏／作

林光／音楽

上演台本・演出／公家義徳

振付／菊地尚子

舞台美術／池田ともゆき

衣裳／稲村朋子

公演時間(基本は休憩有の115分／休憩なし上演の要望があれば100分)

**派遣者数**

出演者 13名

スタッフ 7名

**タイムスケジュール(標準)**

前日 13時～17時 仕込 または 18時半～22時半

当日 8:30 会場入り・仕込 13:00 開場 13:15 児童・生徒リハーサル 13:30 開演

終演 15:15

17:30 撤収終了

**実施校への協力依頼人員**

搬入・搬出時のお手伝い

児童・生徒 30～40名程度

大人 10名程度

## 演目解説

とある港町。戦争の足音が近づいていたある日、妙な海賊団が結成された。彼らは、国を飛び出してきた王子や神父・船大工・女たち、そして戦争から逃れてきた男たちだった。どこの国にも属さない、誰の持ち物でもない、独立自営の海賊たち。自由と平等を愛し、人殺しをしない、海賊らしくない海賊が、若さって何だ！ 自由って何だ!! と大海原に漕ぎ出していく。

2002 年都民芸術フェスティバルで広渡常敏(作)と林光(作曲)の名コンビが生んだ作品を、今の世代のスタッフたちが意匠を変えて、ポップな弾んだ舞台に生まれ変わらせました。変形していく舞台、たっぷりの歌とダンス、カラフルな衣裳で青春を謳歌します。パワフルな俳優たちのアンサンブルをお楽しみください！

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

①「あたらしい言葉のうた」全員の合唱 ②「マングース」歌の掛け合い ③船の完成までのカウント・アップ ④選挙のシーンに登場人物として出演します。⑤「恐ろしい海賊の歌」の間奏で、役者たちが 10 人ほどの選抜隊と通路を走り、そのまま舞台へあがり、ダンス。⑥「夜の海で歌われた歌」女性全員合唱。選抜隊は舞台上で歌う。⑦MC に誘われて、先生・生徒(各 1 人)が舞台へあがり、フリートーク。

前半に参加シーンがあり、後半は落ち着いて観劇していただくように工夫してあります。

## 児童生徒とのふれあい

演出助手班がワークショップから公演当日まで、児童・生徒が円滑に参加できるようにフォローします。各グループに担当者がつき、細かい指導が行き届くように配慮します。

劇中のインタビューシーンは台本のない即興的なやり取りになります。児童・生徒の日常にも触れるようなおもしろい本音の返事がいつも後援を盛り上げてくれています。

終演後に希望校は座談会を行うこともできます。

搬出はいつもお願いしており、作業をしながら出演者と交流し、それが座談会とは違う、気軽な雰囲気での触れ合う時間となっています。



